

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神看護援助論Ⅱ	NSP33_007	必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
森川 三郎 他	417	s.morikawa	水曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	精神看護学概論・援助論Ⅰの内容をふまえて、精神機能障害の急性期及び慢性期にある人への治療と看護援助について学ぶ。指定テキストの4章・6章・8章・9章・10章・11章・13章・15章に該当する範囲として、精神科における各種の治療、関係する法律及び観察・コミュニケーション・患者・看護師関係等の精神看護における援助技法を教授する。更にプロセスレコードの概要、急性期看護過程の流れ、慢性期の関わり及び地域生活支援に必要なストレスモデルを教授し、臨床実習の準備とする。				
授業形式・方法	☒対面授業 ☒遠隔授業(双方向型) ☒遠隔授業(自主学習) ☒講義 ☐演習 ☐実習 ☐実技 ☐PBL ☐グループワーク ☐その他 () ☐反転授業 ☐プレゼンテーション ☐実習・フィールドワーク ☐ディスカッション・ディベート				
学習上の助言	学習効果を上げるためには、必ず教科書の各回に関連する箇所を読んでおくこと。またリアクションペーパーによって各回の学習内容を確認・記載・提出する。共通の学習内容及び質問については次回の授業初めに振り返る。				
教科書	・系統看護学講座専門分野Ⅱ①精神看護の基礎/著:武井麻子/医学書院/2021第6版 ・系統看護学講座専門分野Ⅱ②精神看護の展開/著:武井麻子/医学書院/2021第6版 [概論・援助論Ⅰ・実習と合わせて2冊指定]				
参考書	・リカバリー・退院支援・地域連携のためのストレスモデル実践活用術/窪田真美/医学書院/2017 ・オープンダイアログ私たちはこうしている/森川すいめい/医学書院/2021				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神科領域の代表的な治療的アプローチが理解でき、説明できる。			NS(1)～(5)	
②	患者家族及び精神科領域で協働する他職種を理解し、各々の立場・役割を説明できる。			NS(1)～(5)	
③	社会復帰関連事業を理解し、精神医療の全体像がイメージでき、説明できる。			NS(1)～(5)	
④	精神科の看護技法(観察・コミュニケーション・患者看護師関係)を理解し、活用できる。			NS(1)～(5)	
⑤	精神科医療に関係する法律の概要を理解し、患者・家族の状況が理解できる。			NS(1)～(5)	
⑥	看護過程・プロセスレコードの学習を通して、臨床実習の準備ができる。			NS(1)～(5)	
授業計画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	精神科治療の基本として精神療法・作業療法及びレクリエーション療法を学ぶ。(担当:森川)	講義	復習として授業資料を読み返す。精神分析学について教科書で予習する。	1	
2	精神療法の基礎理論による違いを理解し、無意識を中心とした療法及び関連知識を学ぶ。(担当:森川)	講義	復習として授業資料を読み返す。認知療法・行動療法について教科書で予習する。	1	
3	指導・教科を中心とした療法(認知療法及び行動療法等)について学ぶ。関連動画を15分視聴する。(担当:森川)	講義	復習として授業資料を読み返す。支持を中心とした療法について教科書で予習する。	1	
4	支持を中心とした療法(カウンセリング及び非指示的療法)及び関連知識を学ぶ。(担当:森川)	講義	復習として授業資料を読み返す。家族への援助について教科書で予習する。	1	
5	精神疾患患者の家族の状況と特徴について理解し、家族療法及び家族支援方法を学ぶ。関連動画を9分視聴する。(担当:河窪・森川)	講義	復習として授業資料を読み返す。他職種・社会復帰関連事業について教科書で予習する。	1	
6	精神医療で協働する他職種(Dr・OT・PSW・CP等)の役割及び社会復帰関連事業を学ぶ。関連動画を8分視聴する。(担当:河窪・森川)	講義	復習として授業資料を読み返す。精神科に関する法律の変遷について予習する。	1	
7	精神保健福祉法を学び、精神障害者がおかれてきた歴史的状況と今日の状況について学ぶ。関連動画を7分視聴する。(担当:森川)	講義	復習として授業資料を読み返す。精神科での行動制限について教科書で予習する。	1	
8	入院形態、人権と面会・通信・隔離・拘束等の行動制限を中心に精神保健福祉法を学ぶ。関連動画を12分視聴する。(担当:森川)	講義	復習として授業資料を読み返す。観察技法について教科書で予習する。	1	
9	精神面・身体面・日常生活・発達段階・対象関係・対処行動を中心に精神看護における観察技法を学ぶ。(担当:河窪・森川)	講義	復習として授業資料を読み返す。コミュニケーション技法を教科書で予習する。	1	
10	コミュニケーションの基礎を概観し、精神科での治療的コミュニケーション技法を学ぶ。関連動画を27分視聴する。(担当:河窪・森川)	講義	復習として授業資料を読み返す。患者一看護師関係について教科書で予習する。	1	

11	精神看護における患者－看護師関係の展開について、ペプロウ・外口玉子・川野雅資らの考え方を学ぶ。 (担当:河窪・森川)	講義	復習として授業資料を読み返す。教科書②の「プロセスレコード」に関する箇所を予習しておく。	1			
12	プロセスレコードの記載方法を学び、自己理解・対象理解・関係理解の方法を学ぶ。 (担当:河窪・森川)	講義	復習として授業資料を読み返す。基礎・成人看護で学んだ看護過程について予習しておく。	1			
13	急性期統合失調症の事例を通して、精神科における看護過程の概要を学ぶ。 (担当:森川)	講義	復習として授業資料を読み返す。テキスト 13 章について予習する。	1			
14	災害時の精神的健康に関する知識及び具体的な支援方法を学ぶ。 (担当:森川)	講義	復習として授業資料を読み返す。配布するストレスモデルに関する資料を予習する	1			
15	オープンダイアログ・ストレスモデル等精神医療に関する今日的な概念を理解し、慢性期及び地域生活に必要なストレスモデルを学ぶ。関連動画を 12 分視聴する。 (担当:森川)	講義	15 回までの授業資料を振り返り、精神看護についての学習を復習する。	1			
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記試験:講義で得られた知識を問う。試験内容は、授業全般を通した精神看護に関する基本的な知識の理解のために、択一問題及び正誤問題を出題する。総合的な理解度の確認のためにテーマに関する記述問題を出題する。				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
⑥	✓						
備 考							
他 担 当 教 員	河窪くみこ						
教 員 の 実 務 経 験	20 年以上の精神科臨床看護に携わった経験を持つ。						
実践的授業の内容	授業の中に実際の事例を取り入れ、学生の現実的な理解を促す。また、看護過程においては、オリジナルな患者事例を提示し、実際の臨床現場で行なわれている看護を再現しながら看護方法を教授している。						
その他	○授業時間中に生じた疑問・質問は、その段階で直接教員に質問すること。それ以外は、授業終了後カリアクションペーパーによって行うこととして、全体に関係する内容については次回の授業開始時に回答する。 ○本授業は、これに続く精神看護実習に必要となる知識・技術を中心として構成されているので、自分が臨床に立った時をイメージして、積極的に学んで欲しい。						